

令和8年度各区自治協提案事業一覧表

資料 4

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
北 区 (計 1,800千円)	大学連携による地域活性化事業 (600千円)	新潟食料農業大学と区自治協議会が地域の課題解決に向けて、課題を共有し、地域社会とのつながりを深めるイベント・企画などの事業を実施します。令和8年度は、県内有数の生産量を誇る北区産トマトを活用した料理の提供や情報発信を通じて、地域農業の振興と地産地消の推進に取り組みます。	
	地域におけるこども・子育て支援事業 (600千円)	地域がこどもの健やかな育ちや子育て世帯を支える”社会の厚み”として機能することを目的に、事業を実施します。令和8年度は地域による子育て支援の促進に向け、子育て世代の声を届けるリーフレットを作成・配布します。	
	北区自然(水辺)環境の活用・魅力発信事業 (600千円)	北区内の自然(水辺)を活用し、住民が自然に親しみながら環境保全の意識を高めるため、海辺の森・島見浜海水浴場においてスポGOMI大会を開催します。ごみ拾いをスポーツ感覚で楽しみながら、環境美化や環境保全への関心を高める機会を創出します。	
東 区 (計 3,000千円)	区自治協議会提案事業 (3,000千円)	区民と協働し、東区の地域課題の解決やまちの活性化について、3つある専門部会が所管する分野を中心として取り組みます。令和8年度は、各専門部会において「交通安全(自転車のルール等)」、「こどもと高齢者の交流」、「新潟空港の利活用」をテーマとする取り組みを実施します。	
中央区 (計 1,525千円)	区自治協議会提案事業 (1,525千円)	区自治協議会が地域の課題解決や活性化につながる取組を提案し、深掘り調査や効果検証するためのモデル事業などを実施します。自治協委員で構成する専門部会において、各分野における身近な課題を洗い出し、取組テーマを決め、課題解決を図っていきます。 【第1部会】まちなかの回遊性向上と公共交通の補完に資する移動手段として、「にいがた2kmシェアサイクル」の認知度向上と利用者の拡大を目的とした利用促進策の提案やイベント連携によるPRを実施します。 【第2部会】「こどもたちが地域のことを考えるきっかけづくり」を目的として、中学生を対象に、対話型授業を通じて、こどもたちが主体的に地域の良さや課題を考える機会を創出します。 【第3部会】鳥屋野潟の認知度向上と鳥屋野潟をテーマに活動している団体の交流・連携の促進を図ることを目的としたイベントを開催します。 【第4部会】こどもとその保護者を対象に、中央区の歴史や文化を認知してもらうきっかけとなるよう、まち歩きをベースに謎解きやクイズの要素を取り入れたイベントを実施します。	
江南区 (計 5,000千円)	江南区魅力発掘・発信プロジェクト (1,000千円)	区内への来訪者増加、関係・交流人口の拡大に向けて、地域の魅力を掘り起こし、発信するなど、まちの活性化につながる取組を実施します。 ＜R8実施事業＞ 地域活動運営のヒントを探るシンポジウムの開催 テーマ:未来の地域(まち)をみんなでつくる 一次世代につなぐ新しい担い手のカタチ 地域活動に参加する人の固定化や、若い世代の参加減少など、まちづくりにおいては担い手不足といった課題があります。この課題解決の糸口を探るため、他都市の成功事例や地域活動経営のアイデアを共有するシンポジウムを開催します。	
	多世代交流“みらい”プロジェクト (1,000千円)	子どもから高齢者まで、多世代が交流する事業を検討・実践することで、コミュニティの維持・向上と、暮らしやすい“みらい”の地域づくりにつなげます。 ＜R8実施事業＞ 若者が地域の未来について気軽に話せるミーティングを開催 タイトル:きかせて！若者の声は未来の声 まちcafe MTG(ミーティング) 若い世代と接する機会が少なく、その声を地域づくりに十分生かせていないといった課題があることから、まずは若者の意見や若者が感じる地域課題を把握する場を作ります。ミーティングでは江南区の特産品を使ったアフタヌーンティーを楽しみながら行うことで、さらに地域への理解も深めます。	
	誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト (1,000千円)	すべての人々が安心して暮らせるよう、防犯、防災、交通安全、福祉などの分野での啓発活動を通じ、安心安全・防災意識の向上を図ります。 ＜R8実施事業＞ 中学生による「防災コンテスト」を実施 いつ起こるか分からない災害に備えるためには、防災活動に対して当事者意識を持ち、能動的に行動することが必要です。そこで、中学生をターゲットとして、防災活動をより身近に感じてもらうため、「防災」をキーワードとした中学生ならではの発想力によるアイデアコンテストを実施します。	
	江南区まちづくりサポートプロジェクト (2,000千円)	区内外の団体の多様な資源やアイデアを活用し、効果的な事業展開を図ることで区の課題解決を図ります。 連携団体:コミュニティ協議会、NPO法人、市民活動団体、公益法人、企業等 ＜R8実施事業＞ ・株式会社 北都 『江南区の昔話 紙芝居動画プロジェクト』 ・特定非営利活動法人 あおぞら 『曽野木の羊毛を活かした地域循環型(地域資源×福祉)ものづくりと交流拠点づくり事業』	○

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
秋葉区 (計 5,900千円)	①「きらめきサポートプロジェクト」と「地域活性化事業『秋葉若人塾』」 (1,400千円)	「きらめく」秋葉区に向けて、地域の様々な課題の解決につながる事業を区内の団体から募集して、区自治協議会が協働しながら、地域の人材を発掘し、継続的に取組が進められるよう支援します。また、まちづくりの担い手となる次世代が地域で活躍できるように、人材育成に取り組めます。 連携団体: 区内事業実施団体(今年度5団体採択)	○
	生活交通の検討と防災講座 (500千円)	秋葉区の公共交通に関する課題の把握や解決策の検討、他地区の先進事例の研究を行う。さらに、区内の公共交通利用を促進するため、効果的な情報提供を行う。また、防災講演会や避難所運営訓練などを開催し、区民が災害時の行動を習得できるよう支援します。	
	Akihaくみん大学 (350千円)	秋葉区の特色や史跡・旧跡、魅力ある歴史を学んでもらうことで地域への愛着や興味関心をさらに高めるとともに、学びを次世代に引き継ぐ、未来につながる主体的な学びの機会とします。	
	コミュニティFMを活用した自治協議会PR事業 (800千円)	コミュニティFMを活用し、自治協議会の活動やかわら版「あきはくはつものがたり」のPRを行います。	
	秋葉区未来ビジョン (2,200千円)	各コミュニティ協議会で策定した「コミュニティ未来ビジョン」アクションプランについて、実現に向けて地域と協働し実施を図ります。また、取組状況を発表するなど、交流の場を設け、各コミュニティ協議会相互の連携強化を図ります。 連携団体: 区内地域コミュニティ協議会(現在4コミ協採択)	○
	こども真ん中プロジェクト (650千円)	こどもの成長と幸福を最優先に考えた様々なイベントを開催することで、地域全体で子育てを支援する風土を育み、こどもたちが地域に対して愛着を持つことを促進します。 連携団体: 区内子育て支援団体(2団体)	○
南 区 (計 5,000千円)	安心・安全意識啓発事業 (500千円)	防災や防犯意識を高めることを目的に、「白ねこマルシェ」に出展し、防犯アプリの紹介など防災や防犯の意識啓発活動を行います。	
	しあわせなまち・きれいなまち美南 区クリーンアップ月間事業 (500千円)	清掃意識やモラル向上に繋げることを目的に10月を強化月間として、南区民や南区で活動する団体(事業者・サークル・スポーツ団体など)が参加する清掃活動を南区全体で実施します。	
	南区ふれ愛月間事業 (500千円)	人と人のつながりを大切に、温かい交流が生まれることを目的に、区内小中学生の絵画・川柳展を11月に開催します。11月7日(土)には同会場で親子で参加できる英語イベント「はじめましてのえ・い・ご」を開催します。	
	夏休みこども見守り事業 (500千円)	子育て家庭の負担軽減と世代間交流を目的に、7月23日(木)、24日(金)、27日(月)、28日(火)に小学生の学習を地域人材で見守ります。	
	南区まちなかにぎわい創出事業 (500千円)	南区の食の魅力発信とまちなかの賑わい創出を目的に、区内農産物や地域の商店の飲食物が並ぶイベント「白ねこマルシェ」10月3日(土)に開催します。	
	南区魅力発見ツアー事業 (500千円)	南区の魅力発信と交流人口の拡大を目的に、区内の文化施設への訪問や旬な農作物などが味わえる日帰りバスツアーを10月19日(月)、20日(火)に実施します。	
	南区まちづくり活動サポート事業 (2,000千円)	南区の地域活動団体等が実施する区のまちづくりや活性化を目的とした事業を募集し、支援します。 連携団体: 区内地域コミュニティ協議会、企業、団体	○

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
西 区 (計 3,600千円)	地域の防犯講演会応援事業 (50千円)	地域コミュニティ協議会の防犯講演会開催を支援することで、高齢者の特殊詐欺被害防止の啓発を行う。	
	高校生と連携した自転車盗難防止事業 (550千円)	自転車盗難が多く発生している区内の駅を利用する高校と連携し、自転車盗難防止の啓発活動を行う。 連携団体: 日本文理高校、新潟西警察署	○
	自主防災組織の防災意識向上事業 (0千円)	防災士の非常時に備えた持ち歩き品例の動画を作成し、防災意識の向上、啓発活動を行う。	
	支えあいの大切さ普及事業 (300千円)	支え合いの大切さを広めるきっかけとして地域で行われるあいさつ運動を促進するため、区内のコミュニティ協議会・自治会・小中学校をはじめとした地域団体や事業者へ、のぼりや広報媒体の配布による支援を行いつつ、水平展開の協力と呼びかける。 連携団体: 各地域団体等	○
	西区「すき間」コネクトプロジェクト (300千円)	区内の福祉・教育等の情報を収集し、ネットワーク化・一覧化させるなどして、必要な人に必要な情報を届けることを目指す。今年度は、部活動の地域展開が進む中学生世代に注目して、放課後の居場所づくりにつなげるため、情報の収集と整理を行う。	
	区の魅力発信事業 (600千円)	西区の魅力のある地域資源を再発見・整理し、区民や区内外へ効果的に発信するとともに、地域間や関係団体間での情報共有を促進することを目的とし、以下のプロジェクトを実施する。 * 大学生委員による魅力発信プロジェクト …若い世代の視点を生かした魅力発信を実施するため、昨年度大学生委員が作成した区内の魅力あるスポットを公共交通機関を利用して巡るルート案を活用した情報発信の手法を検討・実施する。 * 地域の見える化プロジェクト …区内15のコミュニティ協議会に向けて昨年度実施した、地域の実情や魅力的な資源などに関する調査結果を整理し、地域の特色や魅力を可視化して発信する、 * 農業の魅力発信プロジェクト …西区自治協議会広報紙「西区を豊かに」に農家・農産物に関する特集記事を掲載し、西区の農業の魅力を区民に発信する。	
	西区を元気づける事業 (1, 800千円)	西区を元気づけるため、秋ごろに実行委員会によって実施される「発酵街道開(びらき)」事業と連携し、来訪者や関係人口の増加を目標に、ツアー企画や情報発信事業を実施する。 連携団体: 発酵街道開(びらき)実行委員会	○
西蒲区 (計 2,400千円)	住みよい・豊かな・活力あるまちづくり (800千円)	「観光とスポーツ・レクリエーションのまち」「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指すために、総務部会が所管する分野(防犯・防災、公共交通、教育、文化、スポーツなど)の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。 令和8年度は、防災・減災をテーマとした事業に取り組む予定です。	
	あたたかな人の和でまちづくり (800千円)	「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指すために、保健福祉部会が所管する分野(保健、福祉、生活環境など)の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。 令和8年度は、子育てをテーマとした事業に取り組む予定です。	
	にぎわいと活力があふれるまちづくり (800千円)	「魅力あふれる農水産物を供給するまち」「歴史と文化が生き続けるまち」「人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち」を目指すために、まちづくり・産業部会が所管する分野(まちづくり、農業、商工業、観光など)の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。 令和8年度は、にしかん応援隊制度の更なる活用に向けて取り組む予定です。	